

報道関係者各位

2023年2月14日

株式会社イード

(東証グロース：コード 6038)

**イードと SUSHI TOP MARKETING、NFT 広告で協業
デジタルメディアで NFT を配布するソリューションを展開**

株式会社イード（本社：東京都中野区、代表取締役：宮川 洋、以下 イード）と、SUSHI TOP MARKETING 株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役 CEO：徳永大輔、以下 SUSHI TOP MARKETING）は NFT 領域で協業し、イードが運営する21ジャンル76のメディア上で NFT を配布するソリューションを展開します。

イードは自動車、IT、ゲーム、アニメ、映画、教育、セキュリティなど様々なジャンルのメディアを手掛けています。一方の SUSHI TOP MARKETING は NFT の配布や活用のためのソリューションを開発しています。イードの専門性が高く熱量の高いファンの多いメディア群と、データの来歴を証明する NFT は相性が良いと考えられ、今回の協業に至りました。

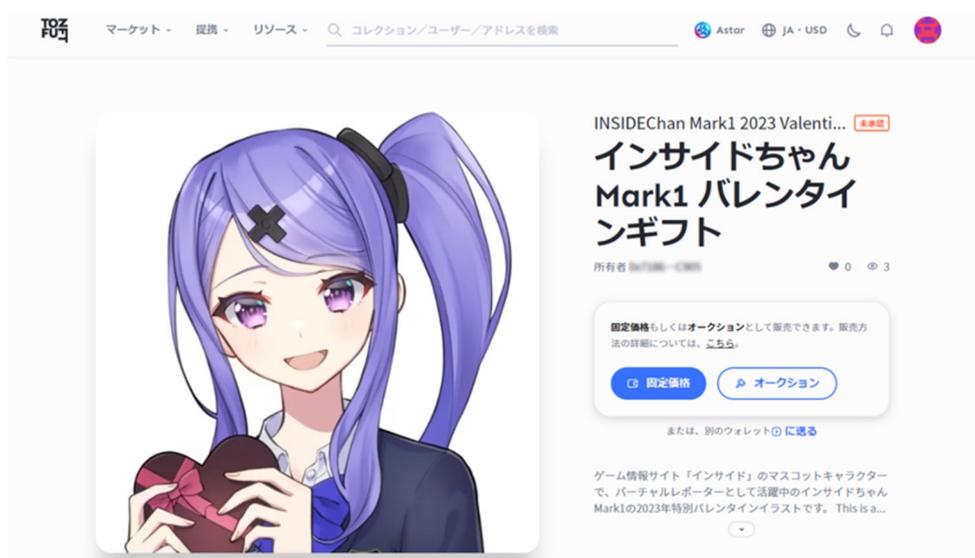
協業ではイードメディアの約 50 万人の会員に対して広告バナー経由で NFT を配布するソリューションを展開。第一弾として、ゲームメディア「インサイド」にて、マスコットキャラクターの「インサイドちゃん」の NFT を読者向けに配布します。この NFT はバレンタインデーに合わせた 3 種類のデザインでメディア来訪者にランダムに付与されます。配布期間は 2 月 21 日までの期間限定配布となります。



今回配布する「インサイドちゃん」たちの限定 NFT
配布に関する詳細はこちら <https://www.inside-games.jp/arti/Zy2RfQw/>

ブロックチェーンを活用したゲームは、世界では2027年には657億ドルの市場に成長すると予測されており（※）、2023年は国内でも多くのゲームメーカーから国産のブロックチェーンゲームが登場する見通しです。これまでのNFT配布はエアドロップと呼ばれるウォレットアドレスに対して無料でNFTを送る手法が一般的ですが、これはすでにウォレットアドレスを持っている層にしか情報を届けることができません。

今回の取り組みはメディアに掲載される従来の広告枠でNFTを配布するため、マス向けにブロックチェーンゲームを告知することができることに加え、SUSHI TOP MARKETINGのNFTやウォレットを意識しなくともNFTを受け取れるブラウザウォレット（特許出願中）を用いることで、メディア来訪者に簡単にNFTを配布できると考えております。



配布するNFTは通常のウォレットに移動できます。ブロックチェーン「Astar Network」を利用しているため対応しているマーケットプレイスで取引もできます。

将来的に、メディアで配布したNFTをゲームに持ち込むとアイテムとして使用できるNFT広告の実現に向けて、取得率や配布数を高めていき、ゲームユーザーの獲得やリテンション向上に繋がる施策を企業に提案してまいります。

イードでは今後、ゲーム以外のデジタルメディアや、「アニメディア」などの雑誌でもNFTの活用を進めていく計画です。

（※）米調査会社のMarketsandMarkets調べ(2022年12月)

■SUSHI TOP MARKETING 株式会社について

会社名：SUSHI TOP MARKETING 株式会社

代表者：代表取締役 CEO 徳永 大輔

本社：〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目3番2号郵船ビルディング1階

資本金：5,000万円

URL：<https://www.sushitopmarketing.com/>

SUSHI TOP MARKETING は NFT の配布と企画に特化した、企業の NFT マーケティングを支援する会社です。NFT を簡単に受け取れる「NFT Shot」の開発や NFT 活用の企画提案などを通し、世の中に NFT を普及させ、トークングラフィックマーケティングという新しいマーケティング手法を確立していきます。

■本リリースに関するお問合せ： 広報担当

URL：https://www.iid.co.jp/contact/pr_contact.html

株式会社イード 〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー17階

<https://www.iid.co.jp/>